

2

2002年

組合広報

NO. 422

よろこばれ 期待され 魅力ある

東京都鍍金工業組合
東京鍍金公害防止協同組合

わたしの意見	「日本のめっき技術に自信を持とう」 副理事長 由田 猛	1
	理事長日誌、組合・関連団体行事予定	3
	工組・協組平成14年新年賀詞交歓会	4
	熱気あふれるインターネット講習会終了	6
	城南地域中小企業センター見学	
予定表	3月の環研・協組集荷日程ほか	8
	組合ホームページをリニューアル	9
	めっき技能検定受検案内	10
	毒物劇物取扱者試験準備講習会案内	11
	訓練校第33期訓練生募集	12
	訓練校3月授業案内	
	第13回「表団協セミナー」開催案内	13
	訓練校平成14年度第33期年間日程表	14
	全鍍連新春賀詞交歓会	16
	十日会新年会	17
ピックアップ	ニッケルメッキ浴のホウ酸の代替物質クエン酸の有効性発見ほか	18
<第9回随想>	海外進出の心得 組合相談役 江原 猛二	20
	訃報	
支部シリーズ	中央支部の巻「坂がつなぐ湯島聖堂～神田神社～妻恋神社」	22
	メルテックス(株)ジンケート亜鉛光沢剤開発	25
つま恋坂	「古いパソコン」 今村 和則(城北支部)	26
支部通信	城東支部、城西支部、城南連合支部	27
	大田支部、城北支部、中央支部	
	足立支部、葛飾支部、向島支部	
	本所支部、西部支部	
	協組・環研ニュース	39
	都設備投資・資金繰調査結果	40

「日本のめっき技術に 自信を持とう」

副理事長 由田 猛



平成14年(2002年)また新たな年を迎える事となりました。

昨年は、我々めっき業界におきましては、国からのP R T Rの届出要請や、都の環境確保条例の規制が始まるなど、いよいよ21世紀は環境の時代がスタートした感を強く致した次第であります。

その中であって組合員皆様方におかれましては、組合本部並びに支部運営におきまして、多大なるご協力、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年の国内景気につきましてはIT産業の不況の影響や、狂牛病問題も発生し、個人消費は落ち込み、総じて景気は低迷した年となってしまいました。

海外におきましては、米国の同時多発テロの影響により、世界の各産業にも影響をもたらし、現在は世界同時不況の時代に入っております。

その中であって、中国だけが、年率7～8%の成長を続けており、一人勝ちの様相を呈しております。

さてそれでは今年はどうなるのでしょうか。

国内景気は、いよいよ小泉内閣の構造改革がスタート致し、銀行の不良債権処理も本格化することにより、選別融資や貸し渋りが一段と厳しさを増し、企業倒産、失業が増加し、未曾有の不況に突入することが予想されます。そしてこの構造不況はあと2～3年は続くと言われております。また、国際的には、中国がWTOに加盟致し、これを機に、益々市場開放政策を積極的に推し進め、安い賃金を求めて海外からの投資が一段と加速されることが予想され、日本国内の空洞化が一層懸念されるところであります。また、めっき業界におきましては、最近土壌問題がクローズアップされて来ておりまして、全鍍連や、我が東京都鍍金工業組合におきましては、大村理事長を先頭に、環境委員会の役員、委員の皆さんの都への、めっき業界のこれまでの経緯や、現状を訴えたりしての、積極的な働き掛けをして頂いております。土壌の取り扱いに対する相応の処置が図られる事を期待致しております。

さて、このような厳しい環境規制の中で、将来めっき業はやって行けるのかとの懸念がありますが、私は、めっきはあらゆる産業にとって、無くてはならない処理、そして技術であり、めっきは絶対に無くならない業種だと思っております。今後規制は益々厳しくは成ってまいります。我々の英知と創意工夫が、必ずや「規制と共存しながら環境にやさしいめっき業」として、生き残って行けるものと確信致しております。

(次頁に続く)

また国際競争下において、日本の製造業は空洞化し、日本のめっき業は生き残って行けるのかと云う懸念もありますが、私はこれも日本のめっき業は必ず生き残って行けるものと確信致しております。

現在、日本のめっき技術において、やさしいめっき技術や、大量に流れる製品のめっきは中国に移ってはおりますが、日本においては、それ以上の高度なめっき技術や、特殊なめっき技術を研究、開発し、いつも一歩先を行って行けば、必ず生き延びて行けるものと思います。

日本の製造業が空洞化すると云われますが、ゼロになるわけではありません。必ず日本で製造され販売される、所謂日本の大きい意味での地場産業が今後共存続し、そしてまた新たな製品や新たな産業も必ずや生まれて来る事となり、それに付帯するめっき技術が当然必要と成る分けて、これこそがめっき業が地場産業であると云われる所以と思われま

す。それには、まずお得意先である日本の各メーカーが、新製品開発や新たな分野の開発を積極的に行って頂いたり、我々めっき業者も、自分達から新しいめっき技術の研究開発を進めたり、用途開発を行って、お得意先に使用して頂く為の積極的な売り込み営業を行う必要があります。

日本のメーカーも我々めっき業者も、「国際競争下の中で、日本での物づくりがいつも一歩先を行くのだ」との、この前向きな意思と行動力さえあれば、日本の製造業、めっき業界は必ず生き延び、そして更なる発展につながって行くものと確信致しております。

ここ2～3年は厳しい年がまだまだ続くものと思われま

すが、我々組合員同士「自信」を持って、そして結束してこの難局を何としても乗り切って行きたいと思

3月 あなたの予定表

日	曜	役員会・委員会他	環研集荷(ブロック長)	協 組 集 荷	メ モ
1	金	訓練校成績判定会議		葛飾支部	
2	土				
3	日				
4	月		大田支部	城東支部	表団協セミナー
5	火	正副理事長会・環境委員会		城北支部	全鋳連環境対策委員会
6	水		品川支部・大田支部	中央支部	
7	木			世田谷・目黒地区	健保理事会、全鋳連広報委員会
8	金		城南支部	葛飾支部	
9	土				
10	日				
11	月		城西支部	足立支部	
12	火				
13	水		城西支部・城北支部	西部支部	全鋳連技術委員会
14	木			品川地区	全鋳連近代化推進委員会
15	金	訓練校修了式	中央支部・本所支部	葛飾支部	全鋳連国際委員会
16	土				
17	日				
18	月			向島支部	
19	火		向島支部	本所支部	健保組合会会議
20	水				表協めつき部会例会
21	木	春分の日			
22	金		西部支部	葛飾支部	城南連合支部役員会
23	土				
24	日				
25	月		城東支部・葛飾支部	蒲田・大森地区	
26	火	訓練校素養調査		城西支部	
27	水		葛飾支部		
28	木				
29	金		足立支部	葛飾支部	
30	土				J E S 年次大会
31	日				

大村理事長日誌



1 月

- 8 日(火)東京都関係部局年始挨拶回り
正副理事長会、新年交歓会
- 9 日(水)日本鍍金材料協組新年交歓会
- 10 日(木)公明党新年交歓会
- 11 日(金)健保組合事務打合せ

- 11 日(金)中央支部新年交歓会
- 15 日(火)工組事務局打合せ
向島支部新年交歓会
- 16 日(水)全鍍連関係方面年始挨拶回り
- 17 日(木)工組事務局・健保組合打合せ
年金基金理事会
- 18 日(金)本所支部新年交歓会
- 21 日(月)正副理事長会
神奈川工組新年交歓会
- 23 日(水)健保組合事務打合せ
- 24 日(木)埼玉工組新年交歓会
- 25 日(金)葛飾支部新年交歓会
- 26 日(土)西部支部新年交歓会
- 27 日(日)十日会新年交歓会
- 29 日(火)全鍍連常任理事会・理事会
新年交歓会
- 30 日(水)都環境確保条例説明会
インターネット講習会
- 31 日(木)石川家告别式
インターネット講習会

～組合・関連団体行事予定～

- 3 月 1 日(金)訓練校成績判定会議
- 3 月 4 日(月)表団協セミナー
- 3 月 5 日(火)正副理事長会、環境委員会
全鍍連環境対策委員会
- 3 月 7 日(木)全鍍連広報委員会
健保組合理事会
- 3 月 13 日(水)全鍍連技術委員会
- 3 月 14 日(木)全鍍連近代化推進委員会
- 3 月 15 日(金)訓練校修了式
全鍍連国際委員会
- 3 月 19 日(火)健保組合会会議
- 3 月 22 日(金)城南連合支部役員会
- 3 月 26 日(火)訓練校素養調査
- 3 月 30 日(土)日本鍍金協会年次大会
- 4 月 3 日(水)正副理事長会
決算理事会
- 4 月 4 日(木)広報委員会
- 4 月 5 日(金)訓練校入校式
- 4 月 22 日(月)監事会
- 4 月 23 日(火)環境委員会
全鍍連総務委員会
- 4 月 26 日(金)中央支部総会(精養軒)
- 5 月 8 日(水)正副理事長会、監事会
決算理事会
- 5 月 10 日(金)城南連合支部総代会
- 5 月 24 日(金)総代会
- 5 月 29 日(水)全鍍連常任理事会・総会・
理事会

＜東鍍工組・公防協組＞

平成14年新年賀詞交歓会

東京都鍍金工業組合、東京鍍金公害防止協同組合（大村功作理事長）の平成14年新年賀詞交歓会は、1月8日（火）午後4時から湯島の東京ガーデンパレスに来賓、組合員多数が出席して盛会に行われた。

梅本喜四郎総財務委員長の司会で始まり、姫野正弘副理事長の開会の挨拶に続いて、大村功作理事長は「明けましておめでとうございます。皆さんには新しい年を大いなる期待をもって迎えられたのこととお慶び申し上げます。さて、去年は、当業界にとって大変厳しい年であった。特に経済環境は最悪で、この大変な1年をよく我慢して来たというのが本音ではないかと思う。また現在、第三次空洞化と言われるように、猫も杓子も、大手企業がこぞって中国へ行き、その中でポツカリ穴の空いた製造業がどうやってこれから生きて行くのかということが大きな課題になるのではないかと思う。我々としては、新技術の開発や技能の継承等、

頑張っているつもりであるが、何としても仕事が無いと言う事が一番辛いことではないかと思う。これから我々業界にとって大きな問題は環境問題である。やつと、ほう素、ふつ素、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素の問題がそれなりの解決を得たと思った矢先、P R T R、また、東京都の環境確保条例が昨年相次いで施行された。特にP R T Rを超える東京都の環境確保条例は都議会の先生方にもお願いしているが、国の基準よりはるかに厳しく、国は14物質にもかかわらず、都は17物質もあり、我々業界を締め付けるのではないかと思う。今日都議会の先生方がお見えであるが、運用方法などこれから話し合いを続けて行きたいと思っている。また土壌汚染の問題も今年あたり国の法制化が予想されるが、既に都の環境確保条例は10月1日から施行されている。これについても、我々は粘り強く出来る限りのことを要望して行きたいと思っている。また、全鍍連を通して環境



省、経済産業省と話合ったが、なかなかスムーズに行っていると私は思っている。東京都の規制が少しでも我々が耐えられるような規制になるように努めて行きたい。例年、本年度の方針を述べているが、当組合は、総財務委員会、環境委員会、広報委員会、技能教育委員会、ホームページ特別委員会の5つの委員会によって運営している。総財務委員会は昨年、一昨年とかけて就業規則の改正に取り組みほぼ終了した。特に昨年末には退職金をポイント制に改正した。組合の存続のためにはやらなければならないということで、総財務委員会三役に大変なお骨折りを頂いた。これから細かい規則についてはこの1年をかけて検討をお願いしている。出資証券もお陰様で、これまで証券がバラバラになっていたところをまとめて頂いた。ただこのような不況下で廃業が多くなり、出資金の返還を求められるが、本年度からその分を各支部で負担して頂くことが理事会で承認されており、その対処の仕方についても総財務委員会をお願いしている。広報委員会はスローガンの通り喜ばれ、期待され、魅力ある組合広報を目指して発刊しているが、ただ配布しても読まない人もいると思う。是非支部に帰ったら読んで頂きたい。技能教育委員会は、訓練校の運営、技能検定を行っている。技能の継承にも努めている。環境委員会については大きな課題を抱えており、話すすと長くなるので、組合広報のお知らせなどを必ず読んでほしい。ホームページ特別委員会は一人歩きし、一生懸命努力しているので皆様の参加をお願いしたい。組合は、初心に帰って一から出直すつもりで頑張っている。昨年末に琴音あき先生の「心も体も魅力学」という講演を聞いた。



(石崎名誉顧問の乾杯音頭)

興味深い話で帰りにその本を一冊購入した。その時本人が出て来て一筆“日々是好日”と書いて頂いた。中国の格言で私の大好きな言葉だが、毎日よい日で過ごさなさいと言う命令系の文章である。こういう不況の時こそ大事な言葉ではないかと思う。どうか皆様も自助努力とともにこの1年をよい日で過ごして頂きたい。終りに、ご来会の皆様のご多幸を祈念申し上げます」と年頭の挨拶をした。

来賓として、宇田川芳雄衆議院議員、井上義久衆議院議員、保坂三蔵参議院議員、時田公夫都下水道局業務部長、都議会自民党めつき対策議員連盟を代表して小山敏雄都議会議員、都議会各党を代表して公明党幹事長の石井義修都議会議員、民主党幹事長の田中良都議会議員、日本共産党幹事長の木村陽治都議会議員、関係団体として渡邊正勝全国鍍金工業組合連合会会長、小松康宏日本鍍金材料協同組合理事長、吉田勇埼玉県鍍金工業組合理事長から挨拶があり、平野普三雄総財務副委員長の来賓紹介、川上洋一副理事長の閉会の辞をもって一部を終了した。二部懇親会は、由田猛副理事長の開会の挨拶の後、関係団体代表者が壇上に上がった中で石崎勝一名誉顧問が乾杯音頭をとり祝宴に入った。懇親会は、海老名平吉顧問の中締め、永田吉輝総財務副委員長の閉会の辞までなごやかに進められた。

熱気あふれるインターネット講習会終了

東京都鍍金工業組合ホームページ特別委員会(石川進造委員長)は、南蒲田の大田区産業プラザで、1月30日から2月5日の延べ4日間にわたり「初めてふれるインターネット講習会」を開き、組合員10名が熱心に聴講した。

講習会は、受講者に1台ずつインターネットに接続されたパソコンを用いて、前半の2日間で三菱電機エンジニアリング(株)の阿部一夫氏の講師で、パソコンの使い方、インターネットを体験しようを講習、後半の2日間で日本カニゼン(株)経理部システム課の深谷達志氏の講師で、わかりやすいメールの作り方、メールの実習と情報検索などについて講習を進めた。



石川進造委員長はサポート役を務め受講者の指導に当たったが、2日間の講習を終了し組合ホームページの掲示板に次のように感想を述べている。「前半2回はパソコンの使い方がテーマでした。大村理事長はじめ、組合の要路の方達の参加するなかで、熱気あふれるセミナーとなりました。講師1名サポート1名、ホームページ委員が5名とマンツーマンに近い、大変親切なセミナーでした。次回は2月4・5日の2回、テーマはインターネットでメール・検索をします。実際にメールを打ちます。楽しいですよ。見学は自由ですから、どうぞいらしてください。最終日は城南地域中小企業センターの見学会が付録についています。めっき関係の評価設備がそろっています」

城南地域中小企業センター見学

講習会最終日の2月5日(火)の講習会に先立ち午後4時から同ビル内の「城南地域中小企業センター」の各種分析試験施設の見学会を行った。見学者は4名で、同センター副参事研究員・技術士の木崎勝氏により、センターの概要から各種施設の説明案内を頂いた。

同センター建物は旋盤のバイトを模した形をしている。当初センターでは品川、大田、目黒等を対象に考えていたが、依頼試験など都内全域から利用があるという。4月1日からは振興公社に組み入れられて、公社において経営、技術相談等を行うことにしている。パンフレットから活動内容を紹介してみる。

同センターは、城南地域の中小企業の振興を図ることを目的とした総合的な拠点で、総合相談、経営支援、依頼試験、試験機器の開放、製品開発などの協力、セミナーを通じて、中小企業の課題解決のための活動を支援している。

総合相談では、新規開業、経営多角化、融資、OA化、リニューアル等の他、商店・工場の企業経営や新製品・新技術の開発、製品の安全・品質向上に関する技術の様々な課題について、

各分野の専門家が相談に応じている。

経営支援では、コンピュータ導入や情報化への対応、経営の再構築、創業の円滑化など商店・工場が抱えている経営上の課題に対して改善方向を提案している。

依頼試験では、製品、部品、材料などについて測定・分析を行い、企業の取引開拓、製品開発、品質向上、技術の改善などを支援している。なお城南地域も10人以下の小規模工場が多く、非破壊X線透過装置、震動計、組織観察などの依頼が多いという。



機器の開放では、企業自らが試作、測定、分析を行うために、センターに設置している試験機器を利用できる。三次元投影機などが活発に利用されているという。

開発協力事業として年12件を受付け、研究開発型企業や開発課題を抱えている企業とセンターが協力して、技術開発や製品開発に取り組んでいる。めっき企業からも工程改善等に利用されている。

セミナーでは、地域の実情に即した経営や技術課題に関するセミナーを開催し、企業の人材育成を支援している。

そのほか情報提供に関して、経営・技術に関する各種のデータベース、ビデオ、書籍等が閲覧出来るほか、特許情報サービスを無料で行っている。自社の製品開発でこのアイデアを特許にしたい、あるいは類似の特許がすでに登録されていないか調べたい、そういう時、専任の担当者が検索し、必要な特許情報を提供してもらえる。

各種設備装置には技術者9名が指導に当たっている。めっきと関係するものが多く備わっており、その幾つかを見学した。

X線回析装置では、物体を透過するX線の力により、金属、鉱物、セラミックスなどの結晶状態を分析することができ、元素の種類だけでは判断出来ない反応生成物の種類も判断することができる。

機器分析室では、オージェ電子分光システム、FT-IR分析システム、走査プローブ顕微鏡などを備え、製品表面のさび、しみ、変色、異物、割れ、はく離などの欠陥、不良の原因を推定するため表面の元素分析や観察を行っている。

電子顕微鏡室には、走査型電子顕微鏡(SEM)、X線マイクロアナライザ(EPM)などを備え、金属等の表面形状観察、成分分析、組織観察などを行っている。また、電子応用試験室にはカラーレーザー顕微鏡も備えている。

皮膜測定室には、高周波膜厚計、電解式膜厚計、蛍光X線膜厚計などを備え、めっき、アルマイトの皮膜測定を行っている。

その他めっきと関係するものでは環境試験室、環境試験評価室、化学試験室、塩水噴霧試験室、ガスクロマトグラフ室、精密測定室の各種試験測定装置など多数あり、広く利用に供している。

《組合ホームページをリニューアル》

組合ホームページが新しくなりました。

新しいアドレスは <http://www.tmk.or.jp>

トップページに

1. 「今週の言葉」欄ができました。現在のところ毎週、理事長・副理事長に書いていただきます。
2. 「組合からのお知らせ」欄ができました。組合から最新のお知らせやニュースをお届けします。
3. トップページの左側にメニュー欄を作りました。これでホームページが読みやすくなりました。
4. めっき関連のホームページのリンク集を作りました。
リンクしたホームページは以下の分野です。簡単な解説をつけてありますのでご利用ください（各種の届出書式がホームページから取れます）。
今後もホームページのリンクをふやし、この欄を充実させます。
 - ① 環境、安全関連
 - ② 鉛フリー関連
 - ③ 官庁（各種助成制度・振興プラン）
 - ④ 各地の工業技術センター
 - ⑤ 電子商取引
 - ⑥ 表面処理関連
 - ⑦ 海外の表面処理関連の英文サイト
 - ⑧ その他のビジネス関連のサイト
5. めっき関連データ集をのせました。膨大なデータ集なので使って便利なページです。ご利用ください。自慢の出来るページです。
さらに、文献集も企画しております。ご希望をお寄せください。
6. 「めっき掲示板」を新設いたしました。
レスポンス形式（一つの発言について、追記や回答ができる）の掲示板を作りました。
この掲示板は匿名にいたしました。自由な発言を求めます。
「めっき掲示板」を作った目的は、経営から技術までの質問や、日ごろ感じていることなどを自由に書いていただき、大げさですが、めっきに携わる人たちのよりどころにしたいと考えるからです。アクセス数が増えた場合は、テーマ別のフォーラム形式も考えております。
7. 組合事務局の担当者アドレスを載せました。連絡が便利になります。
以上、簡単ですが当組合ホームページの紹介をいたしました。

皆様から当ホームページへの積極的なご提案、ご意見をお待ちしております。

めっき技能検定受検のご案内

東京都鍍金工業組合

平成14年度の技能検定（前期）めっき1級・2級が下記のとおり実施されます。受検希望の方は受検申請書等を送付しますので下記によりお申込下さい。

特級技能検定は平成15年2月頃に実施されますので、ご希望の方は今回の受検希望に合わせてお知らせいただければ、平成14年9月頃に受検申請書をお送りいたします。

技能検定とは、職業能力開発促進法に基づき、生涯をとおしてそれぞれの段階で、受検者の皆さんがもっている技能の程度を一定の基準によって検定することにより、皆さんの技能が一層みがかれ、又皆さんの社会的・経済的地位の向上を図ることを目的とした国家検定制度です。

この技能検定は、特級・1級・2級に区分し、それぞれ学科試験と実技試験とによって実施します。技能検定に合格した者には、特級・1級は労働大臣名の、2級は東京都知事名の合格証書と技能士章が交付され、職業能力開発促進法に基づいて「技能士」と称することができます。

記

1. 試験要領

実技試験 期日：平成14年7月下旬

（課題説明会 平成14年7月上旬）

会場：めっきセンター（文京区湯島1-11-10）

概要：1級 次に掲げる作業試験を行う。（試験時間：3時間）

- (1) 掲示されたサンプルにより研磨工程の判定を行う。
- (2) 鋼板にニッケル・クロムめっきをする。
- (3) 鋼板に亜鉛めっき・クロメート処理を行う。
- (4) 不調めっき液を分析調節し、ハルセルテストを行う。

2級 次に掲げる作業試験を行う。（試験時間：1時間55分）

- (1) 鋼板にニッケル・クロムめっきをする。
- (2) 鋼板に亜鉛めっき・クロメート処理を行う。
- (3) 酸及びアルカリの中和滴定を行う。

※ 試験内容・時間については変更もあります。

学科試験 期日：平成14年9月上旬の日曜日 午前9：30頃から

会場：未定

2. 受検手数料 実技試験 15,700円（予定） 学科試験 3,100円（予定）

3. 協力金 実技受検者は手数料の他に次の協力金を徴収致します。

東京都鍍金工業組合員事業所：6,000円 その他：12,000円

4. 受検資格 試験の免除（めっき学校修了生の方、2級学科試験免除）

受検案内をご参照下さい。

5. 受検受付 受検申請書，受検手数料，資格免除の証明書等をご提出下さい。

-
- *東京都職業能力開発協会は平成14年4月上旬
 - *東京都鍍金工業組合では3月下旬まで受け付けます。
 - *特級技能検定試験申込の方も合わせてお申し込みください。(平成14年9月まで随時受付中)

6. 申込方法 受検ご希望の方には、受検案内、受検申請書を送付しますので、組合事務局までお申込下さい。ご不明の点があればお電話下さい。

東京都鍍金工業組合 事務局 総務課 電 話：03(3814)5621
F A X：03(3816)6166

毒劇物取扱者試験準備講習会案内

東京都鍍金工業組合

平成14年度の東京都毒物劇物取扱者試験が7月上旬に予定されております。

当組合では、試験準備講習会を実施する予定で、受験予定の方は是非受講されるようご案内申し上げます。講習会要領は下記の通りで、受講希望者は申込書に必要事項を記入の上、郵送またはFAXにてお申込み下さい。

1. 講習日程

第1回	4月17日(水)	18:00～21:00	法規
第2回	4月24日(水)	〃	法規
第3回	5月8日(水)	〃	法規
第4回	5月15日(水)	〃	基礎化学・物理
第5回	5月22日(水)	〃	基礎化学・物理
第6回	5月29日(水)	〃	基礎化学・物理
第7回	6月5日(水)	〃	各論
第8回	6月12日(水)	〃	各論
第9回	6月19日(水)	〃	各論
第10回	6月26日(水)	〃	各論

なお、工業高等学校またはこれと同等以上の学校で応用化学に関する学科を修了した方は「毒物劇物取扱責任者」の資格があるので受験する必要はありません。

2. 講習会場 めっきセンター(文京区湯島1-11-10)

3. 講師 鈴木 昭一

4. 受講料(テキスト代を含む)組合員 20,000円・訓練生 15,000円・員外 25,000円

5. 45名(申込者が少ない場合、講習会を中止する場合がありますのでご了承下さい)

6. 申込締切 3月29日(金)

7. 申込先 東京都鍍金工業組合 事務局

〒113-0034 文京区湯島1-11-10

TEL 03-3814-5621 FAX 03-3816-6166

申込者が複数の場合、申込書をコピーして使って下さい。

東鍍工組高等職訓校第 33 期訓練生募集

本校の特色

1. 職業能力開発促進法にもとづく、「めっき技術」の全国唯一の認定職業訓練校で、専門教育機関として、永い歴史があります。
2. 現場にすぐ役立つ教育をモットーとし、業界に必要とされる資格取得への道が開かれています。
3. 現場の知識・経験の豊富なすぐれた講師陣を配備し基礎から応用にいたるまで、親切丁寧にわかりやすく教育します。
4. 基礎から専攻へと、先約された時間内に最大限の「実技訓練」を取入れています。
5. 授業にビデオ・スライド・OHP等の視聴覚教育機器を活用して教育効果の向上につとめています。
6. 教科書のほかに豊富な資料を用いて効果的な教育を行っています。

修了生には、多くの特典があります。

- (1) 技能照査(学科、実技試験)の合格者に対して東京都知事により合格証並びに技能士補の称号が授与されます。
- (2) この合格書は国家検定である技能検定 2 級の学科試験の免除が受けられます。
- (3) 東京都 1. 種公害防止管理者の資格が得られます。
- (4) 特定化学物質等作業主任者及び有機溶剤作業主任者の資格が得られます。
- (5) 粉じん作業の特別教育修了証(受講者)が交付されます。
- (6) 職業訓練指導員(めっき科)免許取得講習受講資格の実務経験年数が 15 年から 7 年に短縮されます。

募集概要		国内留学制度
募集科目	金属表面処理系めっき科	東京都以外の道府県に所在するめっき事業所に勤めていて通学が困難な方やめっき会社に勤めていないが、めっき技術を学びたい方のために、当訓練校で修学する便宜(東京の組合員事業所に勤務など)をはかる制度です。
募集人員	40 名(先着順による)	
訓練期間	1 年間(毎年 4 月～ 3 月)	無料一日体験入学 入校を検討中だが、カリキュラムの内容や校内の雰囲気を知りたいと希望される方のための体験入学制度です。学科カリキュラムの説明を受けたり、授業参観で、1 年間の勉強内容が良くわかります。個別のご相談もお受けします。
訓練日時	毎週 火、金曜日(午後 2 時～ 7 時 30 分 但し実技は 8 時 20 分、特別科目は 9 時迄)	
入校資格	高卒以上または同程度の学力のある方	
費用	年額 346, 100 円 費用納入は入校時、6 月末、9 月末、12 月末の 4 回に分納します。	
募集期間	毎年 1 月～ 3 月	
その他	訓練校の主旨に賛同いただけただけの方であれば資格は問いません。 申込順に授業に支障をきたさない範囲で許可します。 聴講生制度があります。聴講料は有料。	

3月 高等職業訓練校授業案内

授業日(火・金) 授業時間(※A:14:00～16:40 C:16:50～20:20 ※C:17:50～20:20)					
日	曜	時	科目	内容(予定)	講師
1	金	C	実技(基本4)	各班毎に下記項目の試験及び測定。 1)耐磨耗性試験、塩水噴霧試験。 2)硬さ試験、表面粗さ測定、光沢の測定、硝酸ぼつき試験。	水元環研
5	火	C	実技(基本5)	3)はんだぬれ性試験、粘着テープ密着試験。 4)亜硝酸ぼつき試験、各種の膜厚計によるめっき厚さの測定	古沢環研
8	金	C	実技(基本6)	自由実験	水元環研
12	火	※A	皮膜試験③(めっき法)	皮膜試験実技の結果について、品質の判定及び評価法等。 東京都鍍金工業組合環研 志賀孝作	
15	金	18:00	<修了式>		

第13回「表団協セミナー」開催案内

表面処理団体協議会主催の第13回セミナーは、最近大きな問題となっている中国経済の動きと環境にやさしいクロム代替めっき技術開発の2つのテーマで講演を行う。開催要領は次の通り。

日時 平成14年3月4日(月)13:30～16:40

場所 機械振興会館(港区芝公園3-5-8)6階65号～66号室

講演 1.「経済面から見た昨今の中国(上海)事業」13:30～15:00

上海先鋒電声器材有限公司総経理 怡田幹雄氏(東北パイオニア(株)取締役)

2.「環境にやさしいクロム代替めっき技術開発」15:10～16:40

—Ni系合金めっきを中心にして—

イオン交換膜、不溶性陽極及び金属陽極を用いる廃浴を発生しないめっきプロセスについて、主に硬質表面材料としてクロム代替し得るNi-P、Ni-W、Ni-W-PなどのNi系合金めっきを中心に紹介する。大阪府立産業技術総合技術研究所評価技術部表面化学グループ主任研究員 工学博士 横井昌幸氏

参加費 3,000円

申込先 全国鍍金工業組合連合会

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

TEL03-3433-3915 FAX03-3433-3915

平成 14 年度(2002 年度)第 33 期生「東鑛工組高等職業訓練校」年間日程表

回	月日曜	講義科目・講義時間・担当講師			
		Aタイム(PM2:00~4:40) Bタイム(PM4:50~7:30)		●Cタイム(PM4:50~7:00) ※Dタイム(PM4:50~9:00)	
			講師		講師
1	4.5 金			<入校式>	
2	4.9 火	めっき概論・めっき用語	矢部 賢	基礎化学①	神戸徳蔵
3	4.12 金	基礎化学②	神戸徳蔵	クラス会	姫野正弘、八幡順一
4	4.16 火	電気化学①	鈴木昭一	電気化学②	鈴木昭一
5	4.19 金	加工図面の読み方①	小暮秀夫	金属・非金属材料①	石原祥江
6	4.23 火	加工図面の読み方②	小暮秀夫	金属・非金属材料②	石原祥江
7	4.26 金	表面工学	神戸徳蔵	金属・非金属材料③	石原祥江
8	5.7 火	ニッケルめっき①	土井 正	ニッケルめっき②	土井 正
9	5.10 金	前処理①	柳田和夫	金属・非金属材料④	石原祥江
10	5.14 火	ニッケルめっき③	土井 正	ニッケルめっき④	土井 正
11	5.17 金	前処理②	柳田和夫	電気化学③	鈴木昭一
12	5.21 火	前処理③	柳田和夫	電気化学④	鈴木昭一
13	5.24 金	ハルセル試験①	土井 正	●実技(応用1)	環研職員
14	5.28 火	ハルセル試験②	土井 正	●実技(基本1)	土井 正、環研
15	5.31 金	前処理④	柳田和夫	●実技(基本2)	水元和成、環研
16	6.4 火	電気工学①	石川 進	●実技(応用2)	環研職員
17	6.7 金	電気工学②	石川 進	●実技(基本3)	土井 正、環研
18	6.11 火	電気工学③	石川 進	●実技(基本4)	水元和成、環研
19	6.14 金	機械加工①	西岡孝夫	●実技(応用3)	環研職員
20	6.18 火	機械加工②	基 昭夫	●実技(基本5)	水元和成、環研
21	6.21 金	と粒・研磨加工①	星野芳明	●実技(基本6)	土井 正、環研
22	6.25 火	と粒・研磨加工②	星野芳明	ハルセル試験③【定期試験①】	土井 正
23	6.28 金	腐食防食①	矢部 賢	亜鉛・亜鉛合金めっき①	鈴木昭一
24	7.2 火	腐食防食②	矢部 賢	亜鉛・亜鉛合金めっき②	鈴木昭一
25	7.5 金	めっき設備①	小暮秀夫	めっき設備②	小暮秀夫
26	7.9 火	電解研磨・化学研磨①	蒔 正勝	粉じん①	星野芳明
27	7.12 金	粉じん②	星野芳明	亜鉛・亜鉛合金めっき③	鈴木昭一
28	7.16 火	電解研磨・化学研磨②	蒔 正勝	制御機器①	小島一郎
29	7.19 金	制御機器②	小島一郎	亜鉛・亜鉛合金めっき④	鈴木昭一
30	7.23 火	めっき材料①	星野芳明	ひっかけ治具①	矢部 賢
31	7.26 金	ひっかけ治具②	矢部 賢	めっき材料②	星野芳明
32	7.30 火	生産実技 9:00~17:00(別途計画)	環研職員		
33	8.2 金	装飾クロムめっき①	高倉利守	電気設備	内野 孝
34	8.6 火	装飾クロムめっき②	高倉利守	設備管理	山田 茂
35	8.9 金	硬質めっき①	星野芳明	銅めっき①	鈴木昭一
36	8.23 金	銅めっき②	鈴木昭一	硬質めっき②	星野芳明
37	8.27 火	貴金属めっき①	村楨利弘	銅めっき③	鈴木昭一
38	8.30 金	貴金属めっき②	村楨利弘	銅めっき④	鈴木昭一
39	9.3 火	無電解めっき①	神戸徳蔵	無電解めっき②	神戸徳蔵
40	9.6 金	無電解めっき③	神戸徳蔵	※労働安全法規①	鈴木昭一
41	9.10 火	すず・接合めっき①	辻 清尊	※有機溶剤(医学)②	石川辰雄
42	9.13 金	すず・接合めっき②	辻 清尊	※有機則(環境)③	志賀孝作
43	9.17 火	すず・はんだめっき③【定期試験②】	辻 清尊	※特定化学物質(医学)④	石川辰雄
44	9.20 金	合金めっき①	丸田正敏	※特化則(環境)⑤	志賀孝作
45	9.24 火	後処理①	川上洋一	※保護具⑥	長嶋政人
46	9.27 金	合金めっき②	丸田正敏	※作業環境⑦【特化則等試験】	長嶋政人

回	月日曜	講義科目・講義時間・担当講師			
		Aタイム(PM2:00~4:40) Bタイム(PM4:50~7:30)	講師	●Cタイム(PM4:50~8:20) ※Dタイム(PM4:50~9:00)	講師
46	10.1 火	プラスチック上のめっき①	大竹了雄	プラスチック上のめっき②	大竹了雄
47	10.4 金	合金めっき③	丸田正敏	めっきの用途	大竹了雄
48	10.8 火	後処理②	山崎竜一	めっき液分析①	斎藤弘幸
49	10.11 金	後処理③	山崎竜一	●実技(基本1)	環研職員
50	10.15 火	工場見学 9:00~17:00(別途計画)	神戸徳蔵		
51	10.18 金	めっき液分析②	斎藤弘幸	●実技(基本2)	環研職員
52	10.22 火	パルスめっき	尾形幹夫	●実技(基本3)	環研職員
53	10.25 金	複合めっき	小林道雄	●実技(基本4)	環研職員
54	10.29 火	排水分析	長嶋政人	●実技(基本5)	環研職員
55	11.5 火	めっき規格	神戸徳蔵	●排水処理①	志賀孝作
56	11.8 金	めっき評価	神戸徳蔵	●実技(応用1)	環研職員
57	11.12 火	金属着色①	青江徹博	●排水処理②	志賀孝作
58	11.15 金	金属着色②	青江徹博	●実技(応用2)	環研職員
59	11.19 火	電鍍	小林道雄	●実技(応用3)	環研職員
60	11.22 金	バレルめっき①	星野芳明	●実技(基本6)	環研職員
61	11.26 火	バレルめっき②	星野芳明	めっき液分析③	長嶋政人
62	11.29 金	省エネ①	石川 進	プリント配線めっき①	豊永 実
63	12.3 火	プリント配線めっき②	豊永 実	省エネ②	石川 進
64	12.6 金	プリント配線めっき③	豊永 実	特殊素地めっき①	矢部 賢
65	12.10 火	特殊素地めっき②	矢部 賢	その他の表面処理	青江徹博
66	12.13 金	公害対策(大気1)	中浦久雄	特殊素地めっき③【定期試験③】	矢部 賢
67	12.17 火	公害対策(大気2)	中浦久雄	公害対策(振動・騒音)	志賀孝作
68	12.20 金	高速めっき	小林道雄	公害防止設備	矢部 賢
69	1.10 金	はく離①	鈴木昭一	●公害法規①	志賀孝作
70	1.14 火	はく離②【技能照査説明】	鈴木昭一	●公害法規②	小坂幸夫
71	1.17 金	ひっかけ治具③	海野吉正、長嶋政人	●公害法規③	志賀孝作
72	1.21 火	品質管理①	矢部 賢	●公害法規④【公害関連試験】	長嶋政人
73	1.24 金	品質管理②	矢部 賢	塗装	大野 茂
74	1.28 火	電着塗装	大野 茂	原価管理①	内藤雅文
75	1.31 金	原価管理②	内藤雅文	生産管理	長嶋政人
76	2.1 土	【技能照査実技試験】			
77	2.4 火	皮膜試験①	水元和成	皮膜試験②	水元和成
78	2.7 金	機器分析①【定期試験④】	神戸徳蔵	●実技(応用1)	土井 正、環研
79	2.14 金	機器分析②【技能照査学科試験】	神戸徳蔵	●実技(応用2)	水元和成、環研
80	2.18 火	廃液処理	大西彬聰	●実技(応用3)	土井 正、環研
81	2.21 金	予備日		●実技(基本1)	水元和成、環研
82	2.25 火	予備日		●実技(基本2)	水元和成、環研
83	2.28 金			●実技(基本3)	松田寛子、環研
84	3.4 火			●実技(基本4)	水元和成、環研
85	3.7 金			●実技(基本5)	松田寛子、環研
86	3.11 火			●実技(基本6)	水元和成、環研
87	3.14 金 3.18 火	皮膜試験③	志賀孝作	<修了式>18:00~19:00	

全国鍍金工業組合連合会

新春賀詞交歓会

全国鍍金工業組合連合会(渡邊正勝会長)では平成14年新春賀詞交歓会を、去る1月29日(火)午後2時30分より港区芝公園の機械振興会館六階に於いて開催した。

吉田勇総務委員長の司会により、大村功作副会長の開会の挨拶の後、渡邊正勝会長は「昨年は皆様方のお力添えにより何とか1年を乗り越えてきた。年が改まり経産省の塚本課長をはじめ多数のご来賓の方々、会員各位のご参席を頂き感謝申し上げます。なかなか厳しい門出であるが、昨深夜のテレビを見ていたら、先進国の多くの企業は既に中国に30%も進出しているのに、日本の場合現在までのところ15%でしかなく、今後30%になるのは時間の問題だろう、と言っていた。ということは我々にとって更に厳しい状況が訪れるであろうことは言を俟たない。お正月に大阪の知事が塩川大臣と対談をしていた中で「シャッター街」という言葉が使われていた。何を言ってるのかなって思ったら、大阪の博労町などの衣料雑貨問屋街のことで、昔はおおいに賑わっていたのに、最近は閑古鳥が鳴く始末でお店もどんどんと廃業倒産してしまい、シャッターの閉まったお店がそこら中にあるといった寂しい街になってしまい、それをシャッター街と言っている。その問屋街を幾分か北にいった辺りに薬品の間屋街があり、こちらは逆に賑わっているようで、そういった勢いの良い業種もある。その話の中で、東京の大田区の中小製造業者の数は一時期の9000から

6000に減ってしまい、東大阪の中小業者も同じように三分の一が姿を消しているということで、我々が幾ら他とは違って水を扱う業種であるとはいえ、非常に厳しい状況に陥るであろうことは確かである。こういう中で全鍍連としてどういうことができるのか。その一つが、かくもグローバルな社会の下にあっては情報の迅速正確なキャッチをしなければならないことがあり、当事務局も精一杯働かせてもらい皆様のお役に立っていききたいということである。どんな情報でも結構でも、こちらにお寄せ頂きたい。とにかく萎んでしまっただけでは仕方ない。明るく元気にやっていくべき、そうすれば必ず良いことがあるはずである。力強くスタートしましょう」と年頭の挨拶をした。

来賓として、経産省製造産業局非鉄金属課塚本修課長、全国中小企業団体中央会企画部橋本一美部長、日本表面処理機材工業会川島利夫会長から挨拶があり、名誉顧問の難波溥氏、石崎勝一氏、渡邊辰巳氏の乾杯音頭で祝宴に入った。



■十日会

新年会

日本鍍金協会・十日会(仲俣雅行会長)は新年会を1月27日(日)午後11時半から東京・豊島区東池袋「サンシャイン 60」58階の「サンシャインクルーズ・クルーズ」で、33名の出席により開催した。

斉藤晴久幹事の司会で進行し、仲俣雅行会長は「昨年、納涼会をこの会場で開催する予定だったが台風で中止となった。今回はまた、私が来た時間には外が雲の中で、1階でやっても58階でやっても同じだと思っていたのだが(笑)、まあ何とか雲のほうも晴れて来た。昨年からの景気の状態や、業界を取り巻く問題については皆さん、あちらこちらで聞いていると思うし、私よりも皆さんのほうがご存じだと思うので、重複は避けた。本年、十日会は少しでも皆さんのお役に立てるように、微力だが活動のほうを頑張っていきたい。景気の良い時には、何か『将来のために今を生きてしまう』ことになるかと思うが、このような

景気の悪い時は『今日のために今日を生きる』というスタイルも必要だろう。本日はわずかな時間だが精一杯楽しんで頂きたい」と年頭の挨拶をした。来賓として、組合本部の大村功作理事長は「昨年は大変厳しい経済環境の中で、当業界にとって二つの大きな課題があった。そのひとつが空洞化の問題、もうひとつが環境問題だと思う。この課題は我々業界にとっては越えなければならぬハードルだと思う。皆さんも、希望に燃えた明るい年を期待して、新年を迎えたと思う。どうか本年が良い年になるためには自助努力を重ねて、そのような課題を乗り越えていかねばならないと思う。特に当業界にとっては、十日会は若手のエリートばかりということなので大いに期待している。組合運動に対しても何かと、ご意見ご指導を賜りたいので、宜しく願いたい」と挨拶、菊池忠男元会長の乾杯音頭で祝宴に入った。石川英孝氏の司会によるビンゴゲームを楽しみ、新婚の太田幸一夫妻ら三ファミリーの紹介・プレゼント贈呈を行ないながら、なごやかな懇親会が進められた。





ニッケルメッキ浴のホウ酸の代替物質 クエン酸の有効性発見

(日刊工業新聞 02. 1. 25)

東京都立産業技術研究所表面技術グループの土井正主任研究員らは、電気ニッケルメッキ浴のホウ酸の代替物質として、かんきつ類に含まれているクエン酸がニッケルイオンと錯体し、ホウ酸よりも微細で硬い被膜を得られることを発見した。ミカンなどに含まれるクエン酸を利用することで、電気ニッケルメッキ浴に広く使われているワット浴と同等のメッキ外観と陰極電流効率、水素の発生を抑制するpH緩衝性に優れていることも確認した。今後は、生産性や長時間の利用による変化などの実証研究を継続する。

メッキ業界では、ホウ素の環境基準や水質汚濁防止法に基づく排水基準が定められたことで、ニッケルメッキ浴に使われているホウ酸の代替が急務となっている。今回は東京都鍍金工業組合の要請を受けて「環境規制に対応したニッケルめっき浴の開発」の一環として研究に取り組んだ。代替物質は、水素を離脱する物質の検討から始めた。環境にも十分に配慮し、人間の口に入るアスコルビン酸や酢酸、クエン酸などを用いてpHの変動を調べるpH滴定曲線測定などからクエン酸を見出した。

クエン酸を用いて、電気ニッケルメッキ浴のメッキ浴組成や条件を変化させて試験し、メッキの外観と電流効率、pH緩衝性など高濃度の硫酸ニッケルを含んだ高速メッキであるワット浴と比較した。ワット浴と同じ条件で試験をした結果、電流効率は

高く、ワット浴と同等のpH緩衝性を得たほか、微細で硬い被膜になったことを確認した。これにより、微細で硬い被膜ができたことで、被膜の特性を生かした新しい用途への活用に期待している。都産技研では「さまざまな実証実験を行いながらクエン酸の有効性を検証していきたい」と話している。

多重磁極マグネトロンスパッタ装置

(日刊工業新聞 02. 1. 31)

広島工業大学の川畑敬志教授らのグループは、ニッケル(Ni)やコバルトの強磁性材料の薄膜を高品質に形成する多重磁極マグネトロンスパッタ装置の試作機を完成した。広島県立西部工業技術センターで関係者に公開した。ターゲット材の側面に電極を配置して浸食領域を広げ、最高厚8ミメートルで成膜速度が毎分0.5マイクロメートルという世界最高速化を実現した。

メッキが困難なガラス基板やマグネシウム合金基盤などにも成膜でき、無電解メッキ以上の高い生産性を持つ成膜装置の実用化に向けて弾みがつくとしている。同装置は多重マグネトロンスパッタガン、真空成膜装置、高速時の異常放電防止対策した高出力RF-DC電源システムで構成。公開試験ではスパッタ成膜室で直径200ミメートル、厚さ8ミメートルのターゲット材にアルゴンなどイオン化したスパッタガンを当てて電子を飛び出させ、基盤表面に薄膜を形成する工程を紹介した。従来のマグネトロンスパッタ法ではNiターゲット厚2ミメートルでNi成膜速度が毎分0.004マイクロメートルに過ぎなかったが、同装置では厚さが4倍、速度が125倍を実証。膜特性でも光沢性、密着性ともメッキよりも優れていることが判明した。電磁シールド性はメッキの100倍以上を実現し、湿式メッキに代替可能な高生産性薄膜装置の実用化に道を開いた。同装置は

2000年度の新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託研究事業で、管理法人が中国技術振興センター装置の開発には広島県立西部工業技術センターと企業5社が産学官コンソーシアム(研究共同体)として参加した。

産業構造審部会始まる

(読売新聞 02. 2. 1)

日本国内の生産拠点や雇用が、中国など海外に奪われる「産業空洞化」問題が焦点となっている。経済産業省は31日、産業構造審議会(経産相の諮問機関)の新成長政策部会を再会し、空洞化対策と産業競争力強化策の検討を始めた。

空洞化問題は、1980年代後半に企業が急速な円高に対応して工場など製造拠点を東南アジア諸国連合(ASEAN)に移転して起こった。最近是中国が昨年末に世界貿易機関(WTO)に加盟し、巨大な人口と安い労働賃金を背景とした「世界の工場」の役割が一段と強まる見込みになって再浮上している。工場の海外移転は現在も続いている。経産省の調査では、国内の製造業の海外生産比率は1990年度が6.4%だったのに対し、2000年度は14.5%(見込)に倍増した。特に中国は、人件費が日本の約30分の1、産業用大口電力料金は約3分の1と圧倒的な低コストを誇る。日本から中国への直接投資は、ASEANへの投資が減る中で、2001年上期も前期比87.3%増と大きく伸びた。

31日にスタートした産業構造審議会新成長政策部会では、製造拠点が中国などに移っても、むしろ国際分業のメリットを享受できるように、いかに企業体力を強化し、産業再編、研究開発の強化などで産業競争力をつけていくかを模索していく。

日商 産業空洞化問題を検討

(日刊工業新聞 02. 2. 6)

日本商工会議所は、産業空洞化問題を検討するため、「地域産業空洞化問題委員会」を3月をめどに設置する。産業の空洞化はモノづくり継承の低下、雇用の悪化、地域活力の減退などを招いており、我が国産業、とりわけ中小企業にとっては大きな問題となっている。日商では2002年度の重要課題の一つとし全国の商工会議所と連携し、その対応策を探ることになった。1年程度委員会で検討し、要望書や提言などの形でまとめ、関係機関に提出する。

7社に1社工場海外へ

(読売新聞 02. 2. 7)

全国9地域の経済産業局長と経済産業省幹部らが、景気情勢などで意見交換する「拡大経済産業局長会議」が6日、経産省で開かれ、工場が海外に移転していく「空洞化」の実態などが報告された。9つの経産局が調査した合わせて約700の製造企業のうち、ここ数年間に工場を海外移転したか、今後移転する計画がある企業は約100社に上り、工場移転が地域経済に大きな影響を与えていることが明らかになった。各産経局の報告をまとめると、移転先は約4割が中国で、全国的に「中国ブーム」が続いている。ただ量産型の家電や機械では製造拠点の海外移転が加速している一方で、デジタルカメラや自動車など製造コストに占める人件費の割合が低かったり、迅速な新製品投入が求められる製品の工場は日本に残る傾向が強く、業態によって海外に移転する企業と、国内にとどまる企業が分かれ始めたことも報告された。

海外進出の心得

組合相談役 江原 猛二



日本人はお人好し、ロシアのガイドが言いました。正直、素直、親切、親しみがわくとのことだ。東アジア多神教社会、島国だけに民族意識は考える必要もないようで平和な国民である。宗教は神教、仏教、山岳宗教、自然崇拜等で、まさに多神教である。家族制度で武士道精神尊重という世界民族の中でも特殊性を持つ民族であるようだ。

第二次世界大戦終結後、米ソ二大勢力が後遺症として尾を引いていたが、ソ連崩壊後国際情勢は急変した。東ヨーロッパ各国を始め、ソ連共和国は次々に独立したのでロシアは手足をもぎ取られた如く変化せざるを得なかった。その後10年を経過したロシアに好奇心が湧いたのでウラル山脈を境にヨーロッパ、ロシアの旅をしたので感想を語る。プーチン政策は一変して観光に重点を置いている。街の美化、ロシアムード色にあざやかに装飾されて各教会は修復中で塔には足場が掛けられていた。きびしかった官憲の姿はなく、なごやかなムードであり、接客態度もやさしく、食事も美味しくなり、国際的になり、ソ連時代の面影は消え去った。クレムリンも美しく修復尖塔は黄金に輝いている。ウラル油田やボルガ川流域の軍事産業は定かでない。不安から開放された共和各国は独立経済安定のため平和産業を重点に努力を続ける。アジア各国も中国を始め近代化を推進、東南アジアの各国は日本に学べのスローガンで着々と発展。日本の独断場であった平和産業に陰りが生じ始めたその頃、我が国は平和と経済バブルに酔い痴れていたのである。「物豊かなれば人は怠惰に溺れる」諺どおり日本の物価、賃金、世界一高い。物は何でもある。若者の産業意欲は衰退し、3Kを嫌い、外国人労働者に依存する傾向になった。

土地神話で物価は上昇、消費は美德なりのスローガンで政府も財閥も消費運動に力を入れる。過去を知らない若年層は素直に順応、年配者は不安で眉唾であった。政府の護送船団方式を信頼して各企業は過剰投資を安易に受け入れたのである。国際状況を知るや知らずや。

世界各国は経済優先に努力を続け、逐次成功したのである。日本は無策に消費経済を推進したため夢破れて大混乱となり、金融機関の貸し渋り、若年層の労働意欲の減退、地価の下落、リストラ、倒産、失業者続出、生産コストは国際競争に対応出来ず、ついにユニクロ方式を採用することになる。政府は不良債券処理問題で混乱。マスコミは不景気報道するが、庶民社会には不安要素があまり感じられないようである。今日までの蓄積であるのか、年金生活者が多いからなのか、不思議な現象であるが、生産部門は深刻で生産コスト引き下げで苦慮している。そのためユニクロ方式に逐次移行。

さて、平和ボケしたお人好しの日本人が厳しい世界デフレ情勢及び人間性にどう対処するか。正直、義理、人情等の日本古来の精神がどう通用するのか、誠に心配である。仮に今までのように日用雑貨、家電製品の生産が続いたとしたら環境汚染問題が更に深刻となったであろう。取り敢えずユニクロ方式で共存共栄の途を歩むことが得策のようであるが、いずれにせよ別れ途である。参考までに先輩がひそかに海外進出の心得を教えてくれた心得をお知らせしよう。先輩は群馬県西部富岡市出身の桐原氏、松井田市生れ、前橋仕込富国を支えた企業社会育ちだけに我が業界海外進出の先駆者である。元理事長由田繁太郎氏のご好意で産業界の長期展望をひそかに話して下さり、東アジア進出に対する注意点を語られた。その思い出をお知らせすることにしよう。

先ず日本の産業界はいずれも海外進出を余儀なくされるだろう。ついに到来した。国内の物価上昇による生産コスト問題、公害問題等である。そのために心しなければならない注意事項は進出先の国民性に対する認識と知識が大切である。次に東アジア進出の場合は華僑グループをターゲットとすることが絶対に必要である。進出に関する失敗談として色々と言い話をまじえて話してくれた。その要因は成功不成功の鍵である。

- 一．華僑グループは東洋第一の財閥である。
- 一．世界的情報のネットワークの保持者である。
- 一．中国内部の思想と経済に関する問題点を弁える。
- 一．民族意識の高揚とグループの結束及び罰則等。

日本人は島国で国外情報に乏しく、籠の鳥のようで民族意識も乏しく国際社会での生存競争には不向きであるが経済大国として世界ランクに位置付けられた責任は大きい。今更尻込みも出来まい。ハングリー精神でチャレンジしよう。世界情勢は急速に変わりつつあるのだ。後れを取らないよう頑張りましょう。ペレストロイカにヒントを得て終わる。

訃 報

謹んでご冥福をお祈りいたします。

石川勝次
氏(城北支
部・(株)三恵
工業所、組
合相談役)
かねてより病気療
養中のと
ころ1月23



日午後9時死去、87歳。

葬儀・告別式は31日午前10時から町屋
斎場で行われた。喪主は長男の雅一氏。

志田マリ子様(大田支部・(株)広尾電
鍍金工場社長志田篤紀氏の令夫人)

2月1日午前4時肝臓がんのため駿河
台日大病院で死去、57歳。葬儀・告別
式は5日正午から麻布山善福寺で行わ
れた。喪主は篤紀氏。

中央支部の巻

「坂がつなぐ湯島聖堂～神田神社(神田明神)～妻恋神社」

中央支部は、台東区を中心に千代田区、文京区、墨田区に事業所があります。今回は千代田区、文京区の坂がつなぐ湯島聖堂～神田神社(神田明神)～妻恋神社を、ご紹介します。



(湯島聖堂)

聖堂を出て昌平坂を上ると湯島坂があり、この坂の途中で神田祭でおなじみの、神田神社(神田明神)があります。神田明神は、730年に創建され当初は、皇居のほたり、現在の大手町にあり、その後、天慶の乱に破れた平将門公の首が神社付近に葬られたことや、天変地異の怪異が続いたことから、時宗の真教上人

地下鉄丸の内線のお茶の水駅を出て、秋葉原方面に向かう聖橋の下のゆるい坂が相生坂です。この坂の途中で湯島聖堂があります。湯島聖堂は、徳川五代将軍綱吉が1690年、孔子の教え(儒学)に傾倒し、この地に創建した。孔子を祀る「大成殿」や「学舎」を建て、学問を奨励した。1797年幕府は、学舎の敷地を拡張し、孔子の生まれた地名(昌平郷)をとって「昌平坂学問所」を開いた。明治維新後、一時文部省が置かれ近代教育発祥の地となりました。



(神田明神)

人がその崇りを鎮め、1309年になって、将門公を神田明神の祭神として祀っていた。その後、江戸幕府が発展するにしたがって城下は大規模に造成され、神田明神も1616年に現在

の境内地に移転した。この地は江戸城の丑寅の鬼門に当たる場所であったため、幕令によって、江戸総鎮守神田大明神にふさわしいように、桃山風の荘厳な社殿が築かれた。江戸時代に華やかさを極めた神田祭は、「天下祭」として全国に知られました。



(妻恋神社)

の一行を救った。途中尊が、湯島の地に滞在したので、郷民は、尊の妃を幕われる心をあわれんで、尊と妃を祭ったのがこの神社の起こりと伝えられた。後、稲荷明神を祭った。神社では、江戸時代から伝わる縁起物木版刷りの「夢枕」を復活した。枕の下に置くと、正月二日夜に吉夢を見ると伝えられています。



(相生坂)

神田明神の裏手、組合本部の前、蔵前通りの坂が新妻恋坂です。坂の中程、湯島神社に向かう清水坂の中程を右に入ると、妻恋神社があり、神社の前の坂が、妻恋坂です。

妻恋神社は、その昔、日本武尊（やまとたけるのみこと）の東征のおり三浦半島から房総へ渡るとき、大暴風雨に会い、妃の弟橘姫（おとたちばなひめ）が身を海に投げて海神を鎮め、尊



(妻恋坂)

*相生坂：神田川をはさんで、駿河台側の淡路坂と平行して並んでいるので、相生坂といわれている。

*昌平坂：昌平とは、聖堂に祭られている孔子の

生地（昌平郷）にちなんでつけられた。

*新妻恋坂：関東大震災後、都市計画により蔵前通りの新設によりできた坂が妻恋坂に平行しているため、新妻恋坂と名づけられた。

「お茶の水」の由来は、昔、高林寺という寺があり、鷹狩りの帰りに立ち寄った将軍が、庭の名水で茶を飲んで以来、将軍家御用のお茶の水にしたところから、高林寺が駒込に移った後も、お茶の水の地名が残ったと伝えられています。

普段何気なく通っている坂道ですが、ちょっと足をとめて、街の文化や歴史を発見してみたいかがでしょうか。

（広報委員・堀江 清）

（参考文献）「ぶんきょうの坂道」文京区教育委員会



（昌平坂）

東京都中小企業の景況調査—平成13年12月の景況—

東京都産業労働局は1月30日、平成13年12月分の都内中小企業の景気動向調査の結果をまとめ発表した。調査は、4,760企業を対象に、1,476企業(31.0%)の回収から集計した。

<景況：さらに悪化>

○平成13年12月の都内中小企業全体の業況DI値は▲58とさらに悪化した。4月から後退を続けてきた全体の業況は、9月▲56、10月▲55、11月▲54と横ばいとなったが、当月は▲58と1998年10月の▲64以来、3年2ヶ月ぶりの厳しい水準となった。

○業種別の業況については、製造業は▲64と前月の▲66から2ポイント改善したものの、厳しい状況が続いている。卸売業は▲59と前月の▲55から4ポイント悪化した。小売業は前々月▲61、前月▲51、当月▲63と大きく上下した。サービス業は▲43と前月の▲38から5ポイントの悪化となった。

<見通し：上向き期待>

○当月と比べた向こう3ヶ月（平成14年1月～3月）の業況の見通しは、業況の動きとは異なり▲33（前月▲37）と4ポイント増加し、前月に引続き改善した。業種別にみると製造業では▲36（前月▲38）と2ポイント、卸売業は▲27（同▲39）と12ポイント、小売業は▲38（同▲41）と3ポイント、サービス業も▲25（同▲27）と2ポイントといずれも改善しており景気上向きへの期待がうかがわれる。

メルテックス株

ハイスローイングタイプのジンケート亜鉛光沢剤開発

メルテックス株(本社・中央区東日本橋2-28-5 下郡慎治社長)は、付きまわり性、均一電着性に優れたハイスローイングタイプのジンケート亜鉛めっき浴光沢剤「メルジンク 2400」を開発、本格販売を開始したことを発表した。

同光沢剤は、全電流密度領域で比較的均一なめっき膜厚が得られるため、低電流密度部分でも十分なめっき膜厚が得られ、高電流密度部分に必要な以上のめっき膜厚が付かないので経済的である。低電流密度部分の付きまわり性に優れるため、通常では補助陽極が必要な複雑な形状の品物でも容易にめっきを付けることができる。静止浴、回転浴いずれも使用可能で、陽極には亜鉛板、鉄板のいずれも使用することができる。(別槽溶解法可) その他の物性、取扱いなどは従来のジンケート浴とほとんど変わらない、などを特徴としている。

浴組成及び作業条件は次表の通りで、建浴水の水質によっては、ロングライフNCZ-Kを添加することができる。

浴組成	標準	範囲
亜鉛 (g/L)	10	6~14
水酸化ナトリウム (g/L)	120	80~150
メルジンク 2400M (mL/L)	10	6~14
メルジンク 2400H (mL/L)	1	0.5~1.5
メルジンク 2400L (mL/L)	1	0~2
メルジンク T-25 (mL/L)	5~10	
メルジンク AS-60 (mL/L)	0.1~0.2	
作業条件	範囲	
温度 (°C)	20~30	
陰極電流密度 (A/dm ²)	1~5	
電圧 (V)	1~9	
陽極	99.99%亜鉛板 もしくは鉄板	

建浴方法は、①洗浄したタンクに建浴

量の1/10量の水を加える。②水酸化ナトリウムを必要量加え、混合溶解する。さらに必要量の酸化亜鉛を加え、混合溶解する。③酸化亜鉛が完全に溶解後、建浴量になるまで水を加える。④浴温を30°C以下にする。⑤攪拌しながら必要量のメルジンク 2400M、2400H、2400、LT-25、AS-60を加え、良く攪拌する。

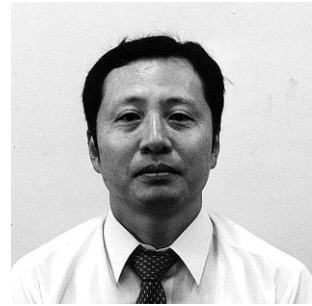
補給管理は、亜鉛濃度、水酸化ナトリウム濃度は滴定分析により管理することができる。分析方法は、従来のジンケート亜鉛めっき浴と同じである。光沢剤の補給についてはハルセルテストやめっき外観で決定するが、各ライフ値は次の通りである。

①メルジンク 2400Mは主光沢剤であり、また均一電着性を向上させるための分極剤。過剰に添加すると全体の膜厚低下、フクレの原因となり、過少の場合は光沢の低下、電流密度領域による膜厚差の増大、ヤケの発生を引き起こす。ライフは8,000~10,000AH/L。②メルジンク 2400Hは、中~光電流密度部分の光沢助剤、2400Mの存在下でその効力を発揮する。過剰に添加するとフクレの原因となり、過少の場合は光沢の低下を引き起こす。ライフは16,000~20,000AH/L。③メルジンク 2400Lは、低電流密度部分の光沢助剤で、2400Mの存在下でその効力を発揮する。過剰に添加するとフクレ、極低電流部の付きまわり低下の原因を引き起こす。ライフは16,000~20,000AH/L。設備は、従来の亜鉛めっきの場合と同様のものが使用できる。

なお、同製品は、愛知、新潟、北陸地区の専門家が導入し、高い評価を得ているという。

古いパソコン

今村 和則(城北支部)



パソコンが仕事場に入って10年も経つと、世代交代の時期が来ます。私のパソコンも愛着はあるものの、近頃はやりのインターネットでは文字しか見えず、デジカメの写真も表示できないので、お金を払って処分しました。自動車なら東南アジアに輸出されたり、鉄くずとして引き取られたりしますが、パソコンはいくらかの貴金属がとれるだけです。中身を見ると当時最先端だったICが載っていますが、今となっては絵も書けないワープロ程度の能力なので、我が家では邪魔者扱いです。更に、10年前の記録形式や記録媒体が今となっては通用しないのも致命的でした。

世間ではパソコンの部品を目まぐるしいグレードアップは常識のようですが、日頃めっき用のポンプの修理などを見ているので、10年も経つと筐体(きょうたい=ボディ)も含めて全取替えになるのは、本当に驚きです。どうも、部品(半導体素子)の流用とか保存の考えが、パソコンにはないようです。結局、大きな筐体ともども処分せざるを得ませんでした。今は4年前に予備用(バックアップ)に買ったパソコンで事務処理をしています。これもあと2年もしたら骨董扱いされそうです。

さて、次の予備用は大きい物だと処分に困るので、処分しやすい小型の物が良いと思っていましたが、昨今のコンピューターは性能を上げるため、結果的に消費電力が高くなる傾向がありちょっとしたヒーターくらいの熱が出ますので、小さい筐体では将来性がなさそうです。結局筐体を変えずに、マニアの方のように中の部品(基板)だけを換えていくことにしました。これであと10年は少なくとも筐体だけはゴミにしないようにと考えています。

最先端の部品がまるで消耗部品のような扱いをされていくことは、物の価値が下がるデフレ経済そのままのようできょっとします。また、今ある大切なデータも、紙や写真プリントのように100年くらいは保存、通用できるのでしょうか。時代遅れになったそんな電子部品を、ゴミにしないで別の器械に流用できるような技術の進歩は、この先も望めないのでしょうか。

支部通信

■城東支部

新年会

城東支部(八幡順一支部長)は1月11日(金)午後6時から江戸川区松島の割烹「いこい」で新年会を開催した。

長谷川寿紀会計の司会で開会し八幡順一支部長は、「明けましておめでとうございます。何かとご多忙中の中を多数のご出席を賜りお礼申し上げます。私が支部長を仰せつかり9回目の新年会をいこいで迎える。丁度9回目ということで、バブルが弾けたころから支部長をさせて頂いており、毎年新年会で本年は嬉しいが頑張ろうと挨拶を申し上げてきたが、本年は例年とは違うという感じがしている。

私は犬を連れて荒川土手を散歩するが、この1年は土手にだいぶブルーテントが目立ちホームレスが増えて来たように感じる。昨日イヤホンでラジオを聞きながら散歩していると、丁度、オリックスの田口が、阪神に行かず、大リーグの方に行くということを司会の方が報じていた。だんだんプロ野球も人気の選手がいなくなっ

て寂しくなるという話をしていたが、その番組を聞いた時に我々の業界とダブるものがあった。今から6～7年前、近鉄の野茂が大リーグに移籍した後、オリックスのイチロー、横浜の佐々木、阪神の新庄といった人気者が次々と米国の大リーガーに移籍し、海外に移った。最近ではヤクルトの石井が移籍するという。このように人気ブランドが海外に移転しているが、業界でも次々に得意先が海外に移っている。これは我々にはどうすることも出来ないが、来賓の議員先生にもこの辺のことを、将来のことを含めて考えて頂きたい。せめて我々が出来ることは健康管理ぐらいだろう。健康に留意して、この1年頑張っていきたい。2月に健康管理をテーマに講習会を開催する。将来のことは分からないがせめて健康だけは万全を期してこの1年を乗り切って頂きたい。」と年頭の挨拶をした。

来賓として、組合本部の姫野正弘副理事長、多田正見江戸川区長、宇田川芳雄衆院議員、島村宜伸前衆院議員、めっき対策議員連盟の大西英男都議、稲見和夫江戸川区議から挨拶があり、梶原信孝相談役の音頭で乾杯、なごやかに宴が進められ、西田嘉郎総代の中締めにより終了した。



■城西支部

新年会

城西支部(元井民夫支部長)は、1月11日(金)午後6時から豊島区大塚のホテルベルクラシック東京に於いて新年会を開催した。

第一部式典は高橋達也総務委員長の司会により、津田智宗副支部長の開会挨拶のあと元井民夫支部長は、「明けましておめでとうございます。昨年を振り返ると、3、4月頃アメリカ経済不振の影響を受け、我々業界に対する発注の減少が生じてきた。この原因としては大手製造メーカーの生産拠点の海外への移行、生産調整、それに関する価格の引き上げの要請、などが記録的に残っている。また、9月には普段では考えられないテロ行為により、社会経済的に不安が発生し、世界的な消費構造の不信や安全に対する精神的な不安を皆様抱いたと思う。我々めっき業界に対しては、環境問題の一環としてP R T R法、環境確保条例、ホウ素、窒素、フッ素規制、土壌汚染などの法案、条例が定められた。生活環境保全のため従わなければなりません。めっき業界の経営にとって大変な問題を抱えることになった。昨年中頃より廃業と倒産が支部の中でも発生しどれだけの業者が消えて行くのか想像できない時代になってきた。このようなことから、廃業事業者の出資金の返金等もあり、本年度の予算および活動では緊縮予算、節約を考えた方向へと変えて行くことを考えているので皆様の御協力の程お願いしたい。暗い話が続いたが明るい話題もあ

った。皇太子内親王愛子様の御誕生、高橋尚子選手の女子マラソンでの時間の壁を破る記録。また今年は日韓共催サッカー・ワールドカップ、冬期オリンピックがあります。景気回復については、本日御出席の先生方に、我々が今後良い方向へと進んで行く道筋を御教授お願いできればと考えている。また、事業経営に自信が持てるようになる施策を祈念しております。昨年、新世紀の区切りが終った。悪い暗い出来事は出尽くした。今年午年を迎え、好景気が走り始める年となるようにお祈りし、また再生元年度と位置付けて、御出席の皆様のますますの御健勝と事業経営の御発展を祈念申し上げます。」と年頭の挨拶をした。来賓として高野之夫豊島区長、由田猛副理事長、板橋利次連合共済会副会長、平野普三雄城北支部常任理事、織田拓郎都議会議員、戸塚由雄豊島区議会議員、矢島千秋都議会議員から挨拶があり、小橋秀一副支部長が閉会の辞で一部式典を終了した。

第二部懇親会は石田義勝親睦委員長の司会で始まり、柏村一志常任理事の乾杯音頭で祝宴に入った。来賓の紹介、福引等により会場は大いに盛り上がり、菊地利幸青年部会会長の中締め、飯島昭相談役による閉会挨拶で終了した。



■城南連合支部

新年会

城南連合支部（城南支部：中澤敏明支部長、品川支部：藤田直人支部長、大田支部：志田和陽支部長）は2月2日（土）午後6時から熱海の南明ホテルで36名が参加して新年会を行った。

今年は品川支部の幹事により運営され、はじめに小倉芳夫連合事務局長の司会で開会、藤田直人品川支部長は「城南3支部が、城南、品川、大田と名称変更して初めての新年会である。私どもは不慣れであり、行き届かないところがあると思うがお許し頂きたい。今回は景気が悪いこともあり、参加者が少ないが、少ないながらもみなさんのご協力により開催できたことを感謝申し上げます。本日は新年会にふさわしく楽しく過ごして頂きたい」と挨拶をした。

来賓として組合本部の大村功作理事長



の挨拶があり、司会者から「来期4月以降、城南連合3支部において30周年を迎える。各支部長と相談した結果、お祝いをする事になり30周年記念式典を計画しており、その際はご協力をお願い申し上げます」と案内があった。佐藤一男品川副支部長の閉会の辞で一部を終了、記念写真を撮影してから懇親会に移った。原清一品川副支部長の司会により、草間英一顧問は「大変厳しい年を迎えたが本日は笑い飛ばして楽しく過ごして頂きたい」と述べて乾杯音頭を取った。懇親会はきれいどころが加わってなごやかに進み、高倉利守常任理事の中締めにより終了した。



■大田支部

新年会

大田支部(志田和陽支部長)は1月12日(土)、穴守稲荷神社にお参りしてから大鳥居駅前の「利久」で新年会を行った。

午後3時半、穴守稲荷駅に集合、穴守稲荷神社に初詣、宮司より商売繁盛を祈祷して頂いた。穴守稲荷は宝暦・天明の頃建立されたが、当時は現在の東京国際空港内あり、戦後空港建設のため現在地に移転された。商売繁盛、交通安全の神として信仰を集めている。



(祈祷を受ける大田支部の方々)

穴守稲荷の祈祷を終えて大鳥居駅前の「利久」へ移動、午後5時半から新年会を開催した。司会の佐藤富幸事業部長から「今回のお参りは支部長の発案で、昨年は景気が悪かったのでお稲荷さんにお参りした。お稲荷さんは毎年参拝しないといけないことになっており恒例になるのでないか。昨年は不景気など色々な事があったが、本日は年明けにふさわしく楽しいひとときを過ごして頂きたい」との説明とともに開会した。

志田和陽支部長は「昨年は色々なことがあったが、支部運営ではみなさんにご協力を頂き感謝申し上げます。景況は厳しいものがあり、年が明けて良くなるとは思えないが、今年はみなさんと力を合わせて良い年にしていきたい」と年頭の挨拶をした。

小原俊幸協組専務理事から、公防協組は今年も大変厳しい状況にあるが、新たな気持ちで頑張りたいとの挨拶があり、川上洋一副理事長は、商売繁盛するよう穴守稲荷にお参りしてきたが、穴守稲荷に10年お参り出来ることはそれだけ事業



を継続するというので頑張っていきたい」と述べて乾杯、祝宴に入った。

■大田支部

忘年会

城南の大田支部では平成13年12月21日(金)に大森の「浜天」で忘年会を行いました。大田支部では「浜天」を利用する事がしばしばあり、組合広報を見直してみれば何度かその名前が登場しているはずですが。創業は昭和24年、天婦羅屋として始めたそうですが、10年後の昭和34年にはカウンター席を設けた「浜田屋」を開業。「浜天」は和食を中心とした割烹料理店として現在にいたっています。大田支部では若手を中心とした集まりには「浜田屋」を、午配の方が中心の場合は「浜天」をとうまく使い分けをしています。他の支部の方でも大森にいらしたときには是非一度立ち寄って「大森の味」

を堪能してみてください。

忘年会は志田支部長の参加者の労をねぎらう言葉から始まり、川上副理事長の乾杯の音頭から宴会の始まりとなりました。不景気とはいえ年末の忙しいこの時期に26名という参加者とさらに綺麗處が合わさっての大宴会となりました。次々と運ばれてくる自慢料理に舌鼓を打ちつつ、芸妓さんの芸に目の保養をしながら、あつという間の2時間が経過し、内藤常任理事の中締めとなりました。内藤常任理事から「今回の忘年会の“忘”の字は是非とも希望の“望”の字で…」との言葉に、全員が大きな拍手でもって応えた事が印象的な会でありました。

(石川貞行)



■城北支部

新年会

城北支部(篠根健一支部長)は1月15日(火)午後6時から三河島の一龍会館で、来賓、支部員約80名が出席して新年会を開催した。

高松俊和総務の司会により、今泉好隆副支部長の開会の挨拶の後、篠根健一支部長は「昨年は大不況というか、手のつけられない不況であった。その上、同時テロ、狂牛病、大企業の倒産、リストラなど明るい話題の少ない1年であり、我々も企業経営に苦勞した。しかしこの状況は私どもだけでなく、他の業種も同じように苦しんでおり、必至に生きる道を模索している。私達も生きる活路を見いだすために最大限の努力をしていかなければならないと思う。業界にとってもう1つのハードルがある。環境問題で、どんどん新しい規制が出ており、中には排水処理技術が確立されていないものに対して数値が出されている。さらにPRT法、都環境確保条例等、我々が有効な対策を打てないうちに法律が先行している。土壌汚染問題は、過去に遡って規制を受けるといふ納得しづらい法律が施行されている。環境保全は大事であり、出来ることはやるが、出来ないことは真摯に訴える姿勢を貫いていきたいと思う。これから私どもが生きていく上で色々な情報が出てくる。広報全録連を読み、我々の置かれている立場と問題点をしっかり認識して頂いて、組合本部、私なりにどんどん要望

を出して頂きたい。こういう時代になると情報が大事である。情報は待っていて来るものではなく、自分で取りに行くものである。情報をしっかり取って私どもに投げかけて頂きたい。私は支部長という立場で本部に正々堂々意見要望を述べる所存で宜しく願いたい。支部の方々も、支部、組合のために何が出来るかをもう一度考えて頂きご活躍頂ければ支部、組合がより強固なものになろうかと思う。それが当業界が生き残っていくために非常に大きな力になることを確信している」と年頭の挨拶をした。続いて佐藤賢一青年部会会長の挨拶があり、来賓として組合本部の姫野正弘副理事長、藤原志光荒川区長、松島みどり衆議員、北条貞治都議、鈴木貫太郎都議、西川太一郎衆議員夫人、菅谷安男区議、須永京子区議、下平誠中央支部長、近藤澄男近藤而酸槽(株)社長から挨拶があり、猪鼻与一副支部長の閉会の辞で一部を終了した。二部懇親会は、大和田昌宏総務の司会により、須永操副支部長の開会の辞、来賓紹介の後、大和田博相談役の乾杯音頭で祝宴に入った。青年部による福引抽選会を行い、平野普三雄常任理事の中締め、斎藤和久副支部長の閉会の辞までなごやかに進められた。



■中央支部

新年会

中央支部(下平誠支部長)は1月11日(金)午後6時から池之端の東天紅で、来賓、支部員60名が出席して新年会を開催した。

小嶋撰郎副支部長の司会により、堀米清会計の開会の辞の後、下平誠支部長は「昨年の年明けに多少景気が上向くかなと思っただが、最後まで低迷を続けた。昨年12月過ぎには失業率5.5%と最悪の記録を更新、リストラの嵐など厳しい社会情勢となっているが、当業界も厳しい状況が続いている。経済問題はみな同じ状況だが、いずれにしても我々は売上を上げることが一番の問題である。銀行の貸し渋り、信用保証協会も表向きは良いが、審査はしぶいという声がある。組合にしてもここ数年色々な問題に直面し、環境問題のほう素、ふっ素、窒素の規制では、理事長、副理事長はじめ大変なお骨折りを頂いて暫定基準を得るとい

成果を上げた。環境問題は時代の流れとなり、我々の身の回りの至るところに結びついていることが感じられる。業界を取り巻く環境は益々厳しさを増しているが、大村理事長はじめ執行部のみなさんには業界発展のためのなお一層のご尽力をお願いしたい。当支部も積極的に支部運営に努めていく所存でみなさんのご支援ご協力をお願い申し上げる」と年頭の挨拶をした。

来賓として、組合本部の大村功作理事長、小澤栄男足立支部長、保坂三蔵参議員夫人、磯田精治台東区環境清掃部長、服部いくお都議、小橋秀壽連合共済会会長、三宅直三宅静男商店専務から挨拶があり、石井徹夫総務の閉会の辞で一部を終了した。

二部懇親会は、堀江清総務の司会により、東松国雄顧問の乾杯の発声により祝宴に入った。懇親会では、深谷隆司前通産大臣、吉住弘前都議が駆けつけ挨拶を頂いた。福引抽選会、カラオケなどでなごやかに過ごしたあと、内山弘一顧問の手締めにより懇親会を終了した。



■足立支部

新年会

足立支部(小澤栄男支部長)と青年部足立鍍友会(小島一浩会長)の共催による新年会を1月24日(木)午後6時より西新井大師門前の「武蔵屋」で来賓、支部員81名が出席して開催した。

磯村博明総務の司会により、橋本英雄副支部長は「昨年は不況や同時テロなど暗いニュースが多かったが、イチローの米大リーグでのMVP、新人王獲得、皇室では皇太子ご夫妻の長女愛子さまのご誕生など明るいニュースもあった。厳しい時代であるが、共々商売に励み頑張っていきたい」と開会の挨拶をした。

小澤栄男支部長は「本日はお忙しい中を多数のご出席を頂き感謝申し上げます。これまで各新年会に出席して暗い話が多くなっている。いま中国ブームで、国内製造業が中国に生産拠点をシフトしており、そのため我々の仕事も減少している。我々町工場はこれまで公害問題を1つ1つクリアしてきたが、これは経済が安定していたから出来たと思う。経済情勢は益々厳しさを増し困難な時代になっているが、我々は諸先輩が大変な時代を切り開いてきた努力を見習って1つ1つ確実に歩んでいきたいと思う。環境問題では都環境確保条例が施行され、説明会が行われる。支部員みなさんには何かとご協力を頂かなければならないが、説明会には1人でも多く参加して

頂きたい。これから土壌汚染問題など難しい問題が出てくるが、支部活動へのご協力をお願い申し上げます」と年頭の挨拶をした。

足立鍍友会の小島一浩会長は「橋本副支部長から明るいニュースという話があったが足立としてもう1つ加えるなら、新大関の栃東の活躍が励みになっていると思う。今年も厳しい状況であるが、少しでも明るい話題を見つけて、それに希望を持って1年を過ごしていきたい。本日も明るく楽しいひと時を過ごして頂きたい」と挨拶をした。

来賓として、組合本部の由田猛副理事長、隣接支部の篠根健一城北支部長、小橋秀壽連合共済会会長、大高秀明足立区産業振興課長、鴨下一郎衆議員秘書、近藤やよい都議、高島なおき都議、藤木二幸区議、瀬沼剛区議、芦川武雄区議、小室昭進日本プラント工業(株)会長から挨拶があり、瀬田新二顧問の乾杯音頭で祝宴に入った。永田一雄副支部長の来賓紹介の後、青年部による福引抽選会が行われて大変な盛り上がりを見せた。懇親会は永田吉輝常任理事の中締め、細井碧副支部長の閉会の辞までなごやかに進められた。



■葛飾支部

新年会

葛飾支部(神谷博行支部長)は1月25日(金)午後6時から柴又の「川甚」で、来賓、支部員90名が出席して新年会を開催した。

小倉攻一副支部長の司会により、西谷幸一副支部長の開会の挨拶の後、神谷博行支部長は「本日はご多忙の中をご来賓、組合員多数のご参集頂き厚くお礼申し上げます。いま非常に景気が悪いが、昨年のアメリカのIT不況、同時テロなどにより世界同時不況になるのではないかと心配されている。当業界にとっては不況だけでなく、環境問題も加わり、今年から都環境確保条例の報告を行わなければならないが、2月7日にその説明会を行う。報告は区へ提出するので区環境課とも話し合い我々は夜間でなければ参加しづらいことを説明し、2月の説明会に出られなかった人のために改めて3月12日に開いて頂くことになった。我々も、区も初めてのことで、お互いに分からないことがあり、ここはこうした方がよいのではないかと改善しながら進めていきたいと思う。また、この条例の中には、土壌汚染問題も取り上げられている。我々業界でも廃業が増えているが、1坪の土地を1m掘って、6価クロムが検出された場合、約百万円以上がかかる。それを2m3m掘ると200万、300万円になると聞いているが、その上プラスアルファがある。その土地の何ヶ所かサンプリングするが、都の場合1ヶ所5m掘らないといけない。それを50cm

づつ溶出と含有試験を行うが、1ヶ所で10件サンプリングすると大変な費用がかかる。小さな土地でも50万、規模が大きくなると800万円ということも聞いており分析だけで大変な費用がかかる。先生方にはこうした我々の厳しい現状をご理解頂き、改善等ご支援をお願いしたい。私は昨年5月に支部長になり、いま支部役員は菊池常任理事を合わせて9名で構成している。支部長として、みなさんに分かりやすく何でも説明できる支部長になりたいと考え、A4判1枚の支部長だよりを私を感じたことを毎月出してきた。ぜひ読んで頂き、何かご質問ご意見があれば聞かせて頂きたい」と年頭の挨拶をした。

来賓として、組合本部の大村功作理事長、八木原利勝葛飾区助役、平沢勝栄衆議員、山口那津男参議員、樺山卓司都議、木村陽治都議事務所内田副所長、鈴木一光都議、野上純子都議から挨拶があり、広根淳一副支部長の来賓紹介の後、伊藤精二副支部長の閉会の辞で一部を終了した。引き続き二部懇親会に移り、鈴木侑・松岡昇三両総務の司会により、佐藤秀昭副支部長の開宴の辞の後、池田敏則向島支部長の乾杯音頭で祝宴に入った。懇親会は太田寿一顧問の中締め、石川進造顧問の大締めまでなごやかに進められた。



■向島支部

新年会

向島支部(池田敏則支部長)は平成14年度新年会を1月15日(火)午後6時から墨田区横網の「第一ホテル両国」で来賓、支部員75名が出席して開催した。

石田昌久副支部長らの司会により向坪昭副支部長の開会の辞で始まり、池田敏則支部長は「区内では初場所が始まっている。その両国の地にある第一ホテルを昨年から使わせて頂いているが、本日の良き日に色々な所からはせ参じて頂き厚くお礼申し上げます。向島支部は昨年は61社あったが、今は56社に減った。昨年は7～8社減って、ここに来て3社、4社と減り、12月の末日にも1社減った。昨年10月1日から、環境確保条例という国のほかに都が決めた条例が施行された。それを受け墨田区でも、昨年10月から、それまで30、40、50年以上続けてきた事業所が廃業する場合、有害な化学物質が地下に浸透していたら、無害にしなければならぬ。そうでなければ廃業届けを受理しない、ということになった。廃業したいという組合員があり、昨年10月の環境月間の時に区に申請したところ、廃業が受理されず、廃業を決めたのが10月前だったという理由により急遽、9月の日付けの書類にして受理された。私も組合員さんにそのような相談を受けた時が一番つらい。それまでは多少利益がある中で、めっき加工や排液の処理を行ってきた事業所が、その土地を元手にアパート経営などめっき以外の第二の事

業を起こそうとした時に地中の有害物質が障害になってしまう。規制以前の私の工場には30年位前、『悪い水、貯めて薄めて少しづつ』という標語があった。当時はppm、pHという基準がなかったのだが、下水道の取締りが厳しくなったため、向島支部という支部が生まれたのだが、ここに来て廃業した事業所の相談が結構私の方に届いている。また下水道局からの要請も最近多くなった。先日もポンプ場で2ppmというシアンが検出されたという連絡が入った。これは原液では2万ppmに匹敵するのだという。ここにおられる皆様にそういう悪質なことは行わないはずだから他の業界の排液だと思う。下水道局はそういう故意にやるところに対しては今、非常に厳しく指導している。本日は、大村理事長もご出席頂いている。国、都、区から、要請が多いと思うが、環境問題であまり厳しい規制値にならないようご尽力頂きたい。我々も本部とともに協力していきたい」と年頭の挨拶をした。

来賓として高原二郎墨田区助役、瀧澤良仁墨田区議長、八幡順一城東支部長から挨拶があり、坂巻幸雄幹事による閉会の辞で第一部・新年会を終了した。第二部・懇親会是小田倉清行幹事らの司会により石崎勝一名誉顧問の乾杯音頭で祝宴に入った。桜井武都議の挨拶、福引抽選会で大いに盛り上がった。



■本所支部

新年会

本所支部(山田英佐夫支部長)は1月18日(金)午後6時30分から錦糸町のロッテプラザで、来賓、支部員30名が出席して新年会を開催した。

岡本博司副支部長の司会により、山田英佐夫支部長は「本日は多数のご出席を頂き感謝申し上げます。昨年秋突然、黒須前支部長より支部長の話があり、何の準備も出来ないままお受けしましたが、精一杯努力したいと思っている。支部長として本部に出て色々見聞きすると、本部、健保、厚生年金も色々な問題を抱え、理事長、副理事長が努力していることが良く分かった。本所支部も問題を抱えているが、新年会に暗い話をしては仕方がないので、良いところを言うと、非常に狭い地域の中で親しく付き合えることがある。ただ残念なことは支部員が減少していることで、現在22社となった。このまま減少すると対応を考えないといけないと思う。どの新年会に行っても、景気が悪く、どうしてよいか分からないという話を聞くが、私の考えは少なくとも、自分で何とかしないとイケないと思う。昨年双子座流星群を家内と子供と一緒に見た。光っている間に願い事を3回唱えると、その願いがかんうといわれ、“景気が良くなりますように”と3回言うが、景気の“け”で光が消えてしまう。子供に聞いたら、

そうじゃない、“金、金、金”と3回言うんだという。しかし金と3回言っても間に合わない。また、年末ジャンボ宝くじも買ったが駄目、結局、神頼みや運に任せるのは駄目で、根本的には自分で頑張るしかないんだなとつくづく思った。今年自分は何をしていくか、会社は何をしていく年なのか、支部はどうしていけばよいのかを考えるのに、丁度良い年なのではないかと思う。厳しい年回りであるが、この1年本所支部はどうしていけばよいか、あるいは支部員さんが良くなるためにどうしていけばよいか考えながら進めていきたいと思う。宜しくお願い申し上げます」と年頭の挨拶をした。

来賓として、大村功作理事長、松島みどり衆議員、池田敏則向島支部長、三宅直三宅静男商店専務から挨拶があり、来賓紹介のあと懇親会に移った。

司会が酒巻正明副支部長に代わり、来賓の川上洋一副理事長、高原二郎墨田区助役、西川太一郎衆議員、桜井武都議、石井義修都議、木内清区議、林恒雄区議から挨拶があり、松下巖相談役の乾杯音頭で祝宴に入った。懇親会はなごやかに進み、定刻、安斉克茂常任理事の中締めにより終了した。



■西部支部

新年会

西部支部(田代政明支部長)は1月26日(土)午後6時から吉祥寺の「大綱」で来賓、支部員42名が出席して新年会を開催した。

山下良司事務局長の司会により、西原敬一副支部長は「1月が間もなく終わろうとしているが、今年も厳しい1年のスタートを切り、みなさんは順調な運営をされていることと思うが、今年もみなさんのお力をお借りして、昨年以上の組合活動を進めてまいりたいと思うので、ご協力をお願い申し上げます」と開会の挨拶をした。

田代政明支部長は「新しい年を迎えて、少しは良くなるかなと思っていたが、予想に反して本当に厳しい年と始まりとなった。私も客先の新年会に出席しているが、1つも良い話が聞かれず、日々暗くなってしまうのが現状である。そうした中で組合活動として、何をしなければならないか、副支部長とも相談したが、生き残っていくための策を考えよう。日々各社にご苦労されて

おり、情報交換をきちんとして、少しでも役立つ活動を考えていかなければいけないと思う。どこへ行っても厳しい話ばかりだが、少しでも前向きに進んでいかなければいけない。本年も支部運営に努めていくので、ご支援ご協力をお願い申し上げます」と年頭の挨拶をした。

来賓として、組合本部の大村功作理事長、谷村孝彦都議会議員、姫野正弘副理事長から挨拶があり、来賓紹介のあと、高村昌利Eブロック長は「総会、新年会をブロックで担当しているが、総会はカントリー風で行い、本新年会は和風で企画しており、不景気を吹き飛ばすよう盛り上げていきたい」と挨拶があり、川合誠一相談役の乾杯音頭で祝宴に入った。懇親会はEブロックの南條勝利氏の司会進行により進められ、はじめに半田實常任理事が挨拶とともに自慢の喉を披露したのをはじめ、次々とカラオケで見事な歌が披露された。さらに三味線、太鼓演奏の民謡のアトラクションがあり、会場は大いに盛り上がり、山下陽右相談役の中締め、鈴木清次Aブロック長の閉会の辞をもって懇親会を終了した。



協組ニュース

成13年10月施設利用者数75事業所

直通電話 03-3743-2256

FAX 03-3743-2257

☆ 「エコトライ協定締結」

東京都は、平成13年11月5日、産業廃棄物の適正処理の徹底と減量・資源化について、法令の枠を一步越えた協定<エコトライ協定(産業廃棄物適正処理・資源化協定)>を先進的に取り組む事業者と締結したことを発表した。

行政による環境規制の先を行き、“環境保全への取り組みや環境負荷削減に対し努力する”事業者が、今回は、建設業103社(114事業所)、産業廃棄物処分業者42社(東京鍍金公害防止協同組合)となっている。

協定は①産業廃棄物の発生抑制、再利用、適正処理はもとより、管理規定の作成、最終処分までの確認及び教育の徹底などの推進を図ること。②排出事業者及び処理業者等の模範となつて、産業廃棄物に関する現状を広く都民に公表することにより、事業者・都民・行政が問題解決にむけて協力し生活環境の保全と持続発展可能な社会を形成すること、を目的としている。

産業廃棄物のご用命は、協組事務局へ TEL 03-3743-2256

環研ニュース

12月1日 583成分を分析

直通電話 3815-4055

FAX 3816-6166

環境科学研究所は、12月中に1,583成分の分析を行いました。排水問題、作業環境測定等に関して、お困りのことはお気軽にご相談ください。“排水分析はあなたの工場の健康診断です”

1. スラッジ分析数

シアン	クロム	カドミ	鉛	水銀
7	5	2	2	0
ヒ素	その他	前処理		合計
0	0	8		28

2. その他排水分析

SS	COD	ヘキサン	全窒素
3	3	3	11
全りん	有機溶剤	その他	合計
6	25	65	116

3. クロム酸ミスト測定事業所数 14

4. シアン化水素測定事業所数 2

5. 有機溶剤測定事業所数 5

6. 粉じん測定事業所数 7

7. その他 0

8. 分析数

	シアン	クロム	重金属	合計
城東支部	18(4)	23(3)	28(3)	69(10)
城西支部	28(5)	24(6)	72(18)	124(29)
城南支部	17(6)	19(5)	56(19)	92(30)
品川支部	27(4)	30(4)	85(19)	142(27)
大田支部	38(3)	32(1)	68(10)	118(14)
城北支部	17(1)	31(3)	58(9)	106(13)
中央支部	15(3)	7(4)	44(11)	66(18)
足立支部	21(0)	29(0)	38(0)	88(0)
葛飾支部	42(0)	38(0)	87(2)	167(2)
向島支部	36(4)	24(3)	66(9)	126(16)
本所支部	1(0)	10(1)	12(2)	23(3)
西部支部	22(2)	22(2)	50(4)	94(8)
賛助会員	3(2)	5(2)	11(5)	19(9)
アクトター	4(4)	4(3)	27(22)	35(29)
合計	289(38)	298(37)	702(133)	1289(208)

東京都中小企業の「設備投資・資金繰り」調査

東京都産業労働局は1月30日、平成13年10～12月期分の東京都中小企業の設備投資、資金繰り調査の結果をまとめ発表した。概要は次の通り。

＜設備投資：当期横ばい、来期減少＞

当期(平成13年10～12月期)に設備投資を「実施した」企業の割合は全体で17.9%と前年同期とほとんどかわらなかった。製造業においてはわずかずつながら3四半期連続で増加している。卸売業においては前年同期と比べわずかに増加している。また小売業は4四半期連続で一桁と底ばい状態にある。一方、サービス業ははだいに設備投資が減退してきている。

来期(平成14年1～3月期)における設備投資の「実施予定」をみると、「実施予定」と回答した企業の割合は全体で16.1%と、前年同期の18.2%に比べて2.1ポイント減少した。製造業においては前々期から設備投資意欲が減退、今後の製造業における設備投資の減少が懸念される。卸売業においては横ばいであった。小売業においては「実施予定」が前年同期に比べ減少した。小売業の設備投資の「実施」及び「実施予定」は、平成13年を通じてともに一桁であり、設備投資の低迷が続いている。サービス業においては「実施予定」が前年同期と比べ、横ばいであった。

＜資金繰り：製造業、悪化強まる＞

当期(平成13年10～12月期)の資金繰りの状況を「苦しい」とする企業の割合は、全体で47.5%(前期46.3%)よりもわずかに増加、5四半期連続で増加している。業種別では、製造業において「苦しい」が4四半期連続で増加しており、悪化傾向に歯止めがかからずにいる。製造業で「苦しい」が過半数を超えるのは平成10年7～9月期(54.5%)以来であり、厳しい水準にさしかかっている。

編集後記

熱気あふれたインターネット講習会が終了、組合ホームページの内容充実など組合のインターネット活動が活発になっている。ホームページではトップページをはじめ掲示板の掲載などより利用しやすくなり、掲示板への書き込みも増えている。組合からのお知らせもすぐに確認することができる。

昨年、ブロードバンド(高速大容量通信)といわれるDSLが120万回線を超えて、ISDNやCATV利用者を上回ったといわれ、一般のインターネット熱は益々高まっている。業界内のeメール交換も活発に行われているが、最近の一般的な100万画素級のデジタルカメラの画像を送ってもらうと、ISDNなどでは着信までに相当の時間が掛かってしまう。これがDSLなら大幅に短縮できるはずで、利用料金もISDN並みに下がり今後も利用者が増えていくのではないかと。いずれにしても組合のインターネット利用が増えれば増えるだけ紙の情報の需要は少なくなり、いずれはそうした情報手段が主流になるのではないかと。思う。

各地域の産業に深刻な影響を及ぼしている産業空洞化に対し、経産省はじめ日本商工会議所などが本格的な調査に乗り出した。2000年の日中タオル対決時の資料をみると、20分の1といわれる人件費ばかりでなく、電気代、水道代、法人税率なども日本の半分以下となっており、この差を埋めることが難しいとなれば他の方法から対応策を考えるしかないと思う。

広報2月号

印刷 平成14年2月15日
発行 平成14年2月15日
(毎月1回20日発行 第35巻第2号)
発行所 東京都鍍金工業組合
〒113- 東京鍍金公害防止協同組合
0034 東京都文京区湯島1-11-10
Tel03(3814)5621 FAX03(3816)6166
発行責任者 大村 功作
編集責任者 木村 秀利
印刷 スザキ企画 Tel1047(338)1222
〒272-0802 市川市柏井町2-1419-4
定 価 500 円

直営保養所・山中荘の利用について

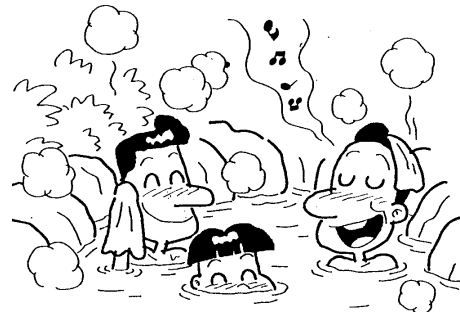
早春の山中湖は、富士山が一番良く見える時期です。雪化粧した富士山を眺めながら、澄みきった山中湖の周辺を散策してみたいはいかがでしょうか。冷えた身体を山中荘の温泉で温めれば、心も身体もリフレッシュできることでしょう。

現在4月宿泊分まで受け付けしておりますので、利用を希望される方は健保組合までお申し込みください。

・山中荘 0555-62-0096

利用料(1泊2食) 定員20名

区分	被保険者 被扶養者	一般
通常期間	3,000円	4,000円
夏期 年末年始	4,000円	5,000円



- ・娯楽 カラオケ、マージャン、碁、将棋、歩数計、自転車など。
(いずれも無料で貸出しております。)
- ・温泉 お風呂は山中湖温泉「紅富士の湯」の温泉水を使用しており、利用する皆様に温泉を味わっていただいております。
- ・貸ポート 湖畔にありますポートハウス「しゅうすいや」の貸ポート等を2割引でご利用いただけます。山中荘に割引券を用意しておりますので、この機会にぜひご利用ください。山中湖ではこの時期わかさぎ釣りができます。

山中荘のパンフレットがございますので、希望される方は健保組合までご請求ください。

健保組合では、山中荘を皆さんに気持ちよく利用していただくために、今後も環境整備を進めてまいります。